

Q. 9

血液培養ボトルに血液を注入する手順の針の付け替えについて

血液培養検査は感染症を特定する為に清潔操作に留意した取り扱いが重要で、次の1～3つの手順があるが、1～3のどの手順が良いのか、推奨されているのか、教えてほしい。《病院》

1. 採血した針で血液培養ボトルに注入する。
2. 採血した針を外し、新品の針を付け替えて血液培養ボトルに注入する。
3. 当院では採血した針を新品の針に付け替え嫌気用血液培養ボトルに血液をいれ、更に新品の針に付け替え好気用血液培養ボトルに血液を入れる

【Q. 9 回答】

このことについては、「医療施設における院内感染の防止について」（平成17年2月1日 厚生労働省医政指発第0201004号）に記載されているとおり、針刺しの防止に配慮した安全機材の活用を検討することが望ましいとされています。

1. の場合においても、特に集中力が途切れがちな時間帯には針刺しのリスクが伴います。
2. 3. の場合、針の交換作業により血液曝露の危険性があります。

針刺し事故を未然に防ぐという点で考えると、

4. 安全装置付き翼状針のついた注射器で採取し、針を収納したうえで、注射器から針を取り外し、針無しの注射器を安全ボトルホルダー（※）に接続して血液を注入する方法が良いかと考えます。この方法では、安全対策のコストがかかるかと考えますが、ご検討ください。また、参考資料も添付しておりますので、ご参照ください。

※安全ボトルホルダーには下記のような製品があります。

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 ブラッドトランスファーデバイス

シスメックス・バイオメリュー 血液培養ボトル セーフティホルダ（製造元コヴィディエン・ジャパン株式会社）

針先・ボトル・針を接続する箇所等から環境や手指に付着している細菌の混入を防止する万全な方策が必要であるため、具体的な手順として翼状針（安全針）を使用し、無菌的に採血を行い、プラスチックカニューラ（セイフバイアクセスR）に無菌的に繋ぎ変え、ボトルに注入している医療機関もあります。また、採血前の皮膚消毒は、コンタミネーションを防止するため、1%クロルヘキシジンアルコールを使用し、ボトルは酒精綿でゴシゴシ消毒を行っている（ポビドンヨードはアルコール禁の方のみに使用している）と情報提供がありました。

(参考)

医療施設における院内感染の防止について

(厚生労働省 医政指発第 0201004 号 平成 17 年 2 月 1 日発行)

<https://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/09/dl/s0906-3d.pdf>

針刺しにより医療従事者の職業感染と患者への院内感染防止の課題と対策

(職業感染制御研究会 報告者 吉川徹)

<http://jrgoicp.umin.ac.jp/activity/zeroday/%E5%90%89%E5%B7%9D%E5%BE%B920130716.pdf>

血液培養汚染防止のための臨床実践ガイドライン

[ENA (米国救急看護学会)] (Y, sLetter Vol. 4 No. 18)

https://www.yoshida-pharm.com/wp/pdf/letter04_18.pdf